

令和7年2月27日

足立区立北三谷小学校  
校長 村松 治 様

足立区立北三谷小学校  
開かれた学校づくり協議会  
会長 佐々木 弘昭

## 令和6年度 学校関係者評価書

### 1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

重点目標とその実現に向けた取組、課題解決の方法等が、丁寧にまとめられている。特に、学力向上に向けた学校全体での取組や調査報告書の具体的な数値をもとに説明があり、個に応じた指導やICT（タブレット端末等）を活用した協働学習、多様な学びの機会を設定、きめ細かい取組を展開していることが分かった。また、年間を通しての朝の読書活動では、学年に応じた取組内容から工夫が見られる。計画的な行事の設定、外部講師を招いた体験学習を多く取り入れるなど学校としての工夫が伝わった。体力向上についても、授業に加え、長なわ・短なわ月間の取組、持久走記録会に向けての取組、生涯スポーツ（ボッチャ）への全校での取組なども進めており、今後の成果に期待するところである。

### 2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

学校では、学力や体力の向上、豊かな心の育成のため、児童の実態や区の調査等をもとに様々な対応策を考えていることが分かる。目指す児童像のように基礎学力を確実に定着させ、協働的な学習を通して、学びを深めることや積極的に考え、学ぶ姿勢を身に付けられるようにする。また、保護者や地域との連携を強め、家庭や地域の教育力を整備し学校を支援する体制をどう組織していくか、今後もさらに検討していく必要がある。

児童の学力向上を進める中で、学校行事の精選が必要となるが、児童・保護者、地域の希望や願いをふまえつつ適切に進めていってほしい。保護者・地域との連携については、今年度と同様に協議会が中心となり、学校とともに事業を進めていく。今後は、協議会独自の取組も工夫し、地域の子ども会と協力し、学校の教育活動のさらなる活性化に寄与していきたいと考える。

### 3 その他

今年度は、創立70周年記念の一連の行事を、学校・地域・家庭が一体となっていくことができた。記念式典は、子供たちの歌声が会場に響き渡り、感動を与える、心に強く残る式典となった。この子供の姿も、日ごろからの教職員の指導の賜物であると考え。保護者同士の横のつながりを強め、学校のよさを伝えることも望む。本協議会でも、学校のよさをPRするとともに、学校と協力して様々な体験活動を考えていく。学校の教育活動の推進に協議会としてどのように関わっていくか、授業や行事のあり方も含め、活発に意見交換を行い、具体的な支援・改善策を提示していきたいと考える。